

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<p>① 67% ② 33%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>保護者の肯定的評価は90%を超えているが、「①そう思う」は27%とやや低い値である。この質問項目の文言では、具体的ではなく、保護者の受け取り方が多岐になっていると予想される。多くの保護者から要望を真摯に聞き吟味していく必要がある。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>「保護者のニーズ」については、第一に「生徒の学力を含めた生きる力を伸ばす」ことであると考える。学力向上、生徒指導に関わる教職員の資質向上にこれからも努めていく。 コロナ禍により、保護者に学校へ来ていただく機会が少なかった。今後は保護者や地域の方のニーズを大切にしていきたいため情報収集に努める。</p>
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>① 27% ② 61% ③ 9% ④ 1% ⑤ 2%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>昨年度よりも地域の評価は高くなっている。コミュニティスクールとなり、いっそう地域の学校として地域との連携を取ることができるようになった。今後も情報収集に努め、保護者や地域のニーズを大切に教育方針に反映してほしい。</p>
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>① 72% ② 28%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>① 72% ② 22% ③ 6%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>学校教育目標の認知度はおおむね80%を超えているが、保護者・生徒の認知度は地域に比べ低い。保護者へ学校だよりが届いていないことや文面を読んでいる生徒・保護者が少ないことが考えられる。また、教室掲示の学校教育目標への意識が薄いことも考えられる。</p>
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。	<p>① 59% ② 27% ③ 10% ④ 3% ⑤ 1%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>教室に学校教育目標は掲示してあるので、学期はじめや終わり等、折に触れて、学年・学級目標とともに、学校目標に対する達成度を確認するなど意識付けを図る。そして、学校目標の下に、学年目標・学級目標が設定されていることの詳細説明をする。また、学級便り等も活用し、学校教育目標の達成に向けての取組や方針内容も扱う。</p>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>① 44% ② 45% ③ 8% ④ 2% ⑤ 1%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>ホームページやメール配信などの整備は進んできている。また、学校だより等も、回覧で地域に回してもらっている。学校からの情報発信力はかなり高いが、ホームページや回覧等の閲覧は一部の人に限定されているようである。今年度はコロナ禍の影響もあったのだろうが、今後も、学校教育目標を広く知らせる工夫を続けて欲しい。</p>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>① 78% ② 22%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒共に肯定的評価は高い値となっている。しかし、「②だいたいそう思う」が30～40%を占めており、生徒よりも教職員が高い値となっている。これはコロナ禍により、休校が5月まで続いたことが少なからず影響していると考えられる。また、「③あまりそう思わない」の生徒は2%ではあるが見過ごしてはいけない。</p>
	生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>時間が限られている中でも、個別指導・補習授業をより充実させていく。また、より深い教材研究・時間の確保は今後も継続していかなければならない。 ICT機器を活用した個別学習・家庭学習を具体的に実践していくことが大切である。</p>
	保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>リモート環境が必須の時代となってきており、学校での、機器の取り扱い方、情報モラル教育は必須である。 生徒の数値を観れば先生方の努力は見えるが今後も頑張ってもらいたい。</p>
	地域			

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	生徒は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員と地域では肯定的評価は100%、生徒も89%となっているが、保護者の値は80%となった。また、「①そう思う」が17%と低い値となってしまった。本年度はコロナ禍により授業参観や学校公開を実施できておらず、家庭での様子がアンケートに反映されてしまったのではないかと考えられる。</p>
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校公開等や学校行事で生徒の様子を見学できる機会が増えてくると、数値の変容が見られるのではないかと考える。蜜を避けるために時間差での開催や授業のネット配信等を実施できるようにしていく。 家庭での学習も集中して落ち着いた態度となるように、家庭学習に対する取り組みを今後も継続し、更に力を入れていく。</p>
	保護者	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍の影響で児童・生徒に元気がなくなってしまうことは心配であるが、今年度も大変落ち着いた雰囲気での学習している。 今年度は学校との関りが薄れてしまったこともあり、保護者は自分の子供のことでとらえてしまうため、評価はきびしくなるのであろう。 「学び合い学習」を通しての、人とのつながりを大切にしたい取組を進めていただきたい。</p>
	地域	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、生徒の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員100%、生徒92%、保護者88%と、おおむね肯定的な評価である。一方で、生徒8%、保護者12%は否定的な評価をしていることも、見過ごしてはいけない。しかし、質問項目が教職員「問題行動」、生徒「いじめ」、保護者「ルール・マナー」と内容にずれがあるため、検討内容も絞り込むことができない。</p>
	生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒指導に対する組織的な取り組みは、教職員が思っている以上に、生徒に伝わっていないことがある。生徒から更に信頼を得るため丁寧な指導をより一層実践していく。 家庭にも協力を仰ぎ、連携を密にしていくことで、教職員の取り組みもしっかり保護者に伝えていけると考える。</p>
	保護者	教職員は、生徒が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>生徒指導、教育相談は組織的な対応をしていることがわかる。 SNSでの問題が最近では多く取りざたされている。これから、情報活用教育を進めていく中で情報モラル教育を重視していかなくてはならない。しかし、最終的には人間関係づくりが大切である。 社会生活のルールやマナーは家庭のしつけである。保護者は学校に頼りすぎになっていくのではないか。地域でも子供たちを育てていく。</p>
	地域			

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	生徒は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>① 67% ② 33%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒、地域は肯定的評価が90%を超えている。校内では生徒もよくまわりを守って生活できている。しかし、保護者は20%が否定的な評価であり、「①できた」の値は15%とかなり低い。このことは、今年度は校内の生徒の様子を見てもらう機会が少なかったことが影響しているのではないかと考える。</p>
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>① 64% ② 27% ③ 8%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>8%の否定的評価を出した生徒には、粘り強く、毅然とした指導を丁寧に行っていく。そして生徒の良いところを更に伸ばし、自信をつけさせる指導をしていく。そして、家庭にも協力を仰ぎ連絡を密にとり情報共有を行う。特に生徒たちの良いところを発信していく。</p>
	保護者	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>① 18% ② 63% ③ 16% ④ 3% ⑤ 1%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>学校の様子から、ほとんどの生徒は、学校の決まりをしっかりと守り学校生活を送っていることがわかる。 今年度は保護者が、学校の様子を見る機会がなく、家庭でのわが子の様子进行评估していると考えられる。 生徒、保護者に否定的な評価があるのは、コロナ禍で気がめいってしまうことがあるのではと推察する。</p>
	地域	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>① 72% ② 28%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	生徒は校内ですすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>44%</td></tr> <tr><td>②</td><td>39%</td></tr> <tr><td>③</td><td>17%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	44%	②	39%	③	17%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>おおむね肯定的な評価であった。しかし、生徒の肯定的評価が、大人たちと開きがある。「すすんであいさつ」の認識が違うと考える。 保護者、地域の方の否定的な評価は19%、16%（無答含む）であった。知らない人に挨拶をしないという傾向が強まっていることが原因の一つではないかと考えられる。</p>
	項目	割合														
	①	44%														
	②	39%														
③	17%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>58%</td></tr> <tr><td>②</td><td>34%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>2%</td></tr> </table>	項目	割合	①	58%	②	34%	③	6%	④	0%	⑤	2%	<p>課題解決への方策</p> <p>「すすんであいさつ」については大人がお手本を示していかなければならない。教職員が率先してあいさつを行う。また、家庭にも協力を仰ぎ、よりよいあいさつを実践していく。 「気をつけて」などの小さな声掛けを行っていく。</p>	
項目	割合															
①	58%															
②	34%															
③	6%															
④	0%															
⑤	2%															
保護者	生徒は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>23%</td></tr> <tr><td>②</td><td>58%</td></tr> <tr><td>③</td><td>17%</td></tr> <tr><td>④</td><td>3%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	23%	②	58%	③	17%	④	3%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>大人と子供の評価に開きがあるのは「すすんで」の捉え方にあるのではないか。 元気な挨拶は以前よりも増えてきている。知らない人にはあいさつがしづらいのではないか。昔の挨拶にこだわらず、あいさつのキャッチボールをしていく。 親に子供の声を聴いてもらいたい。忙しさを理由にせず子供の話を聞く必要がある。 地域でも、夏祭りやサザン運動会など地域全体で挨拶を広げていく必要がある。</p>	
項目	割合															
①	23%															
②	58%															
③	17%															
④	3%															
⑤	0%															
地域	生徒は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>28%</td></tr> <tr><td>②</td><td>56%</td></tr> <tr><td>③</td><td>10%</td></tr> <tr><td>④</td><td>6%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	28%	②	56%	③	10%	④	6%	⑤	0%		
項目	割合															
①	28%															
②	56%															
③	10%															
④	6%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安全 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒、地域の肯定的評価はおおむね90%前後になっているが、保護者の肯定的評価は77%であり、「①そう思う」は23%であり低い値である。保護者の意見の中に「登下校には荷物が重すぎる」という意見が何件かあったことが要因の一つと考えられる。</p>
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>毎年、保護者に部活動の大会や校外行事等において交通安全の見守りを依頼している。今後も協力をお願いする。 荷物は持ち帰らなくて良いものを提示している。持ち帰りは各自の判断に任せたい。 下校時に話し込んでしまうなどで下校が遅くなることを防ぐために、生徒への指導を徹底する。</p>
	保護者	学校は、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>否定的な評価や答えられないという評価があることは、学校で考えていかななくてはならないことである。保護者の評価の数値は、心配の表れであろうと考える。 安全を守るため、地域でも、できる限りの安全対策を行っていききたい。</p>
	地域	学校は、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>①83% ②17%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>昨年度、保護者の肯定的評価で94%今年度、72%まで下降している。このことは、コロナ禍により、休校が5月まで続いたことや授業参観や学校公開を本年度実施できておらず情報を発信することが難しかったことが影響していると考えます。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>学校だよりや各種たよりの発行を続けていくことはもちろん、C4thのHome & School やホームページ等を活用して、情報発信を積極的に行うようにする。</p>
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>①28% ②54% ③15% ④2% ⑤1%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>②④⑥でも言及しているが、今年度はコロナ禍で、「地域に根ざした、開かれた学校づくり」の取り組みに影響が出ている。学校ではホームページやC4thのHome & Schoolの配信など、整備を進めてくれているが、閲覧は一部の保護者、地域の方に限られていることも事実である。今後より多くの方に、しっかり届く情報発信の工夫に努めていただきたい。</p>
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>①67% ②28% ③5%</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価は、昨年度100%に対し、今年度83%まで下降している。同様に保護者は、昨年度92%に対し、今年度82%まで下降している。このことは、コロナ禍により、学校行事ができなかったり縮小を余儀なくされたことが大きく関わっていると考えられる。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>コロナ禍でも教育活動に地域人材を活用していくためには、感染症対策を徹底し可能な限り学校行事等を実施できるようにし、地域と協働した学校運営を取り戻していく。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>今年度はコロナ禍の影響で、学校と地域の繋がりが薄れてしまった。コロナが収束すれば、地域の行事を再開させボランティア活動を積極的に取り入れていきたい。また、来年度もコロナ禍の状況が続いたとしても、小規模でも人と人がつながる活動を大切にしていきたい。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立南

中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>全体的に肯定的評価は90%を超えており、昨年度とほぼ変わらない。教職員では、清掃活動については昨年の意見を踏まえて清掃を不用意にカットしていないので、今年は肯定的評価が100%となった。</p>
	生徒	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒の数値は昨年度よりも「①そう思う」が5ポイント高くなっている。さらに、清掃の時間いっぱい精力的に取り組むことができるなど内容の充実を図る指導の工夫を行っている。</p>
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>教職員と生徒の数値を見れば、学校の取組は評価することができる。 保護者の数値は、家庭での様子が評価されていると思われる。 学校でも、家庭、地域でも大人が手本を見せ、掃除を教えていくことが大切である。</p>
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	